

## 次年度以降の指定管理者について

千葉市民活動支援センターの次期(平成29年4月1日から平成34年3月31日まで)の指定管理者に、「まちづくり千葉・リベルタちば・まちづくり商会共同事業体」が指定されました。現在の2団体にもう1団体を加えた三者の共同事業体により、施設の管理運営を行ってまいります。今後、指定期間の切り替わりに伴い、ご利用の皆様には少々ご不便をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 「参加者の声」特集 (平成28年度講座・相談より)

平成28年度は、多くの講座・相談を実施しました。感想もたくさん寄せられました。その中からいくつかを「参加者の声」として集めてみたので、ご紹介します。

### ●広報相談

・ポスター、チラシだけでなく、集客について様々なことを聞くことができた。質問内容だけに限らないお話と対応ですばらしい時間を過ごした。

### ●インターネット活用相談

・普及拡大のための広報活動について、ネットを使った有意義なアドバイスをいただいた。

### ●「ボランティア講師養成講座」(28年6月実施)

・とても楽しく、まるで自分の心を鏡にうつしているようで、いつも眠くなる講義が、パッチリ、目をあけて、時間も短く感じた。

### ●「発想法でやわらかア・タ・マ」(28年7月実施)

・今までにない発想法でアイデアが生まれるのだと思った。様々な発想法のツールを知った。

### ちばさぽ 講座・相談

### 「参加者の声」

### ●「シニアセミナー」(28年11月実施)

・“高速ブレスト”(短時間でアイデアを出し合う手法)と人が集まってできることの可能性は無限大と感じた。

### ●「見せる・聴かせる・惹きつける

### プレゼンテーション実践講座」(29年1月実施)

・相手によりよく伝えるために、自分が何をどう変えたらよいか、とても勉強になった。3時間、アツという間だった。

### ●「コミュニティカフェ講座」(29年1月実施)

・思った以上に密度の濃い内容で、満足。実践することが大事、と感じた。

### ●「会議を「見える化」しよう！」(29年2月実施)

・あっという間の3時間でした。段階を踏んだ実習が多かったのが、よかった。  
・「見える化」のおもしろさを感じることができた。

## メディアをもっと味方に、できたのか！ －市民団体×媒体の意見交換会－

千葉市民活動支援センターでは、年間を通じて様々な事業を展開しております。そのひとつとして、2月7日(火)午後6時30分から会議室で実施した、市民活動団体とマスコミやミニコミなどが、一つの部屋で顔を合わせた「フランクな意見交換の場」を紹介します。

媒体が市民活動団体に対してどのような要望があるのか、また、市民活動団体は媒体に対して何を望んでいるのかを、お互いを知ることが目的としているこの企画。媒体から、千葉日報社、ジェイコム千葉セントラル、サンケイリビング新聞社、オニオン新聞社の4社、市民活動団体から12団体が参加して実施されました。自己紹介から始まった前半は、お互いの顔色を見ながら遠慮しがちな状態。しかし徐々に尋ねたいこと等を話しはじめ、「プレスリリースは、

本当に読んでいるの?」「どんな書き方すれば目につくの?」など、初めて会ったとは思えないぐらい、ざっくばらんな意見交換になり、終了間際は、時間が足りないと思える状況でした。8時30分の終了後も、閉館まで名刺交換が続き、お互いを知って解散となりました。早速、ある市民団体の活動がメディアに掲載されるとの情報も入りました。

3月24日には、市民団体×行政の意見交換会。テーマは、「千葉の海辺をもっと……」です。こちらも是非ご参加下さい。

これからのちばさぽの事業展開にどうぞ注目下さい。

